



買う人も売る人も、もらう人も!

# 「うれしい」がいっぱいのクリスマスプレゼント



障がいのある人も、その人らしく笑顔で働くために支援を行っています。ふわふわのシフォンケーキはやさしさの味。



東北地方に住む聴覚障がい+セクシュアルマイノリティ当事者の方を支援している団体。テーマカラーであるレインボーグッズの販売や、LGBT用語の手話もレクチャーします。

今年のクリスマスプレゼントは決まりましたか? プレゼントにぴったりの品物が並ぶ「たがさぽのクリスマス雑貨市」、今年も開催します!

雑貨市に並ぶ品物は、かわいい、格好いいだけではなく、社会に優しい一面もあります。購入することで、売り上げが出展団体の活動資金になったり、障がいのある人や途上国の人などの賃金になるからです。また、ワークショップで実際に作品づくりを体験することもでき、つくったものをプレゼントにするのも素敵ですよ。買う人も売る人も、もらう人もみんながうれしくなる「たがさぽのクリスマス雑貨市」、ぜひお越しください!



将棋を通しての世代間交流の場づくりや、ルールを知らない人でも気軽に楽しめる「どうぶつしょうぎ」の啓発活動も行っています。



宮城県在住の外国籍の方や留学生の方々と文化交流活動などに取り組んでいます。雑貨市ではフェアトレードのかわいい雑貨を販売します。



## ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● 今、あらためて見つめなおす「銭湯」の価値 2017年 9月28日(木) 掲載  
一昔前は、自然に地域コミュニティの場としての役割を果たしていた銭湯。そんな銭湯を見直し、再興を目指す取り組みを紹介します。

● 印刷物に、手書きの味を! 2017年10月3日(火) 掲載  
チラシやニュースレター、時には手書きの味も活かしてみたい? マーカーを使うことで、自分だけの字体、変わった字体をつくることができます。

● 科学って、そもそもなんだろう? 2017年10月5日(木) 掲載  
「サイエンス・デイ」を手がけるNPO法人natural scienceは、「結果に至るまでのプロセス」の可視化・共有化を「科学で地域づくり」と位置づけて活動しています。

## “たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! \*ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



## たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

## たがさぽのクリスマス雑貨市

障がい者支援、国際協力、動物愛護、子ども支援などに取り組む団体が集まる雑貨市です。雑貨やお菓子の販売、ワークショップなど合わせて約30団体が出展します。見て・買って・食べて・体験して、楽しい雑貨市へぜひご来場ください。



|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日 時 | 2017年12月10日(日) 午前10時30分~午後3時    |
| 会 場 | 多賀城市市民活動サポートセンター                |
| 参加費 | 無料(出入り自由)                       |
| 問合せ | 022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター) |

## めざせ! 情報発信のレベルアップ!



市民活動団体の取り組みや活動への想いを知ってもらい共感を得るのに不可欠な情報発信をテーマに、たがさぽではこの秋、「伝わる広報」講座を開催しました。講座の内容を踏まえつつ、心掛けるべきことやポイントについて考えます。

## 情報発信の悩みに応えます!

たがさぽには、日ごろから情報発信に関する相談が多く寄せられます。自分の団体や主催のイベントなどについて知ってほしい、より多くの人に関わってほしいと思っている団体が多いことのあらわれと言えます。そこで、多くの人から共感を得られるように「誰に、何を、どのように」伝えるかの整理や再確認も重要と考えて講座を企画しました。今回は3回構成で、それぞれ「文章術」「チラシ作成」「SNS活用」をテーマに講義とワークショップを行いました。

## 心に残る原稿にするには

情報発信でまず大事なことは発信の目的をはっきりさせることと、伝えたい情報を「5W2H」の形で整理することです。その上で、相手の心に残るようにするためには書き手が伝えたいことだけを発信するのではなく、相手が知りたいことや起こしてほしいアクションを考えて、情報の整理・選択や書く順番を考えることが必要です。特に伝えたいことや最も気づいてほしいことをキャッチコピーとして目立たせることで読み手の目を引き、団体や活動についてより分かってもらえて共感にもつながります。

## 情報の見せ方

チラシは、イベントの集客アップなどを目的にしているので、知ってほしい情報を埋め込まずに分かりやすく伝えることが必要になります。そのためにできることとして、色を使わずに文字や本文の字体を統一して見やすくすることなどがあります。

SNSに関してはそれぞれの特性を踏まえながらも、情報を届けたい対象によって伝え方を変えたり文章や画像などを工夫して仕掛けることでより多くの人々の心に留めることができます。また、すぐ効果が出なくてもあきらめずに続けることが大事です。

## 情報発信のポイント

## ① 伝えたい情報の整理

5W2H (いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように・いくらで) の活用

## ② 「誰に」「何を」伝えたいかはっきりと

ここから「伝え方」が見えてくる

## ③ 原稿やチラシを作成したら誰かに見てもらう

別の視点で見ることで気づくことがある

たがさぽ  
ご相談を!

「情報発信」「広報」に関しての相談を受け付けていますので、お悩みの方はぜひご来館ください。

参加者の声  
「伝わる広報」

これまで独学でやっていたため、勉強になった

これまで感覚でやっていたことの理由を知ることができた

広報物の見た目だけにこだわらず、内容や伝えたいことをしっかり考えていなかったことに気づいた

## 「伝わる広報」について、詳しくはたがさぽPressで!

「伝わる広報」① 2017年10月27日(金)掲載  
読み手の心に残る文章を書くには?

「伝わる広報」② 2017年10月29日(日)掲載  
手にとってもらえるチラシをつくろう!

「伝わる広報」③ 2017年10月30日(月)掲載  
探りましょう! SNSの活用法



講師：大泉浩一さん【一般社団法人メディアデザイン】

「心に残る文章を書くためには、『書きたい』文章を書くのではなく、読み手が『読みたい』と思う文章を書く必要がある」「市民活動団体の情報発信で力を入れたいのは、読み手に『納得』してもらうこと」



講師：菅原孝行さん【checkmate design】

「文字や写真のレイアウトに変化をつけることで、楽しげに見えたりまじめに見えたりするなど印象が違ってくる」「ラフスケッチを数案描いてみて、目的や対象に合うものを選ぶ」



ゲスト：小泉勝志郎さん【株式会社テセラクト】

「SNSのツールにはそれぞれ特徴があるので、使い方や届いてほしい対象を踏まえた上で選ぶ必要がある」「がんばりすぎず、細々でも続けることが大事」



ゲスト：大津知士さん【stosdesign株式会社】

「同じ『もの』でも、切り口や見せ方を変えることで読み手の新たなアクションにつなげられる」「発信を続けることでデータの蓄積にもつながる」